令和８年11月９日

那須烏山市議会議長　様

（議席番号）　４番　　小　室　　悟

一　般　質　問　通　告　書

次のとおり通告します。

質　問　事　項	質　問　の　要　旨	質問の相手
１　清水川せせらぎ公園リニューアルオープニングイベントによる賑わい創出について	来年４月にリニューアルオープンする清水川せせらぎ公園は、家族連れが楽しめる開放的な公園として期待が寄せられている。市内でのイベントが少ないとの声がある中、これを機に、市民参加型のリニューアルオープニングイベントを開催し、市内に賑わいを創出すべきだと考える。そこで、以下の点について伺う。	市　長
	①　リニューアルオープニングイベントの開催に関する市長の見解を伺う。	
	②　川が流れていない清水川せせらぎ公園であることを踏まえ、公園のリニューアルを機に、公園の愛称を市民から募集してみてはどうかと考えるが、市の見解を伺う。	
２　都市農村交流施策の現状と課題について	都市農村交流とは、都市に住む人と農村に住む人が直接交流することであり、農業や食の体験イベントが代表的な活動である。自然に恵まれた本市には、八溝山系の里山、那珂川や荒川といった自然資源、龍門の滝や烏山城跡などの歴史資源、山あげ祭という文化資源、そして、カヌー、釣り、観光ヤナなどのレクリエーション資源がそろっており、こうした資源を活用した都市農村交流が可能であると考える。そこで以下の点について伺う。	市　長
	①　現在取り組んでいる「都市農村交流事業」の内容について伺う。	
	②　貴重な自然・観光資源等を活用した取組を実施してはどうかと考えるが、市の見解を伺う。	
	③　都市農村交流の推進に際し、どのようにまちづくり団体や市民協働による取組として推進して行く考えか、伺う。	
３　ふるさと住民登録制度への参加について	総務省が推進する「ふるさと住民登録制度」は、令和９年度からの本格運用が予定されている。この制度は、お住まいの地域以外の特定の地域とのつながりを、アプリを使って登録して見える化し、継続的な関係をつくる仕組みである。それぞれのまちの個性に合った新たなつながりを生み出すことで、地域と、地域に関わりたい人の双方に、より良い未来をもたらすことを目指している。そこで、以下の点について伺う。	市　長
	①　本市にとって、ふるさと住民登録制度のメリット及びデメリットについて伺う。	
	②　ふるさと住民登録制度の市としての参画方針について伺う。	

那須烏山市議会
受付
8.11.-9
2

4　地域プラットフォームの構築ついて	９月に開催された「市民活動団体の意見交換会」には、１６団体２５名の方が参加し、活発な議論が展開され、地域プラットフォーム構築の必要性を強く感じた。そこで、今後の推進に関し、以下の点ついて伺う。	市　長
	① 意見交換会の成果と課題をどのように総括しているのか伺う。	
	② 地域プラットフォームの構築に向けた推進体制やスケジュール等、今後の具体的な進め方について伺う。	
5　市役所窓口業務の短縮について	全国的に、役所の窓口の受付時間を短縮する動きが広がっており、栃木県内の市町でも短縮の実施や検討が進められている。職員の働き方改革を支持する声がある一方で、利用者からは、不便になるという意見も出ている。そこで、窓口短縮に関し、以下の点について伺う。	市　長
	① 職員の時間外勤務の現状と、働き方改革の推進状況について伺う。	
	② 栃木県内で広がる窓口受付時間短縮の動きに対する受け止めと、本市としての導入に向けた検討の進捗について伺う。	
	③ 市民、行政にとってお互いに望ましい窓口サービスの将来像について伺う。	

総計時間	60分	発言所要時間	30分	答弁を求める予想時間	30分